

第3回アイヌ施策推進検討会 会議録

1 開催日時

令和7年1月22日（水）午後7時～午後7時50分

2 開催場所

旭川市民生活館 2階講堂（旭川市緑町15丁目）

3 出席者 ※敬称略，五十音順

（1）参加者

大野 剛志，川村 久恵，坪坂 ルミエ，本間 愛之，森田 直，矢三 尚

（2）事務局

社会教育部文化振興課 坂本課長，山脇補佐，事務局

（3）オブザーバー

福祉保険部 鈴木次長，尾藤主幹，田崎主査

社会教育部旭川市博物館 矢萩館長，友田副館長

4 会議の公開・非公開

公開

5 傍聴者

なし

6 議題

（1）次期アイヌ施策推進地域計画について

（2）令和7年度事業計画について

（3）今後のスケジュールについて

7 発言内容

次期アイヌ施策推進地域計画について

□事務局

別紙1～4を基に概要を説明

■参加者

アイヌ文化フェスティバルの開催を令和8年度から毎年開催するという計画ですが、例えばフリーペーパーに広告を掲載するなり、講師を呼ぶなり、古式舞踊をするなり、いろいろなことで経費がかかるので、年間28万円では予算が少ないかなと思います。むしろこのくらいの予算でなにかやりなさいということであれば、自分たちで考えてやる方が、良いかなと思うところです。

今日は観光課の方がいらっしゃらないのかも知れませんが、例えば去年の食べマルシェのときには、私たちのメンバーが有料スペースを確保してアイヌ料理で出店しました。来月の冬まつりでは、運營業務を受託したライナーさんからの依頼でアイヌ関連のブースを出す予定となっているのですが、出店料等の金銭負担はありません。食べマルシェでもそういうことができないのかな、と思いました。これに関しては、出店料を取らないと、「何で？」となるかもしれないですが、アイヌ料理を出しているということはアイヌ文化のピーアールにもなると思います。今回、この計画に入っていないですが、意見として付け加えさせていただきたいと思いました。

□事務局

アイヌ文化フェスティバルに関しては、7年度にどういったことをやっていくのかを検討して、8年度から実施していく予定です。7年度中に詰めていくなかで、変わっていくことも十分あります。

■参加者

質問ですが、別紙2の5ページ、4-3の(1)「ル・シロシ」の展示を充実させるとありますが、これはどういうことでしょうか。

□事務局

展示物を入れ替えるという意味です。

■参加者

予算のところですが、「アイヌ文化の森・伝承のコタン」の管理運営の予算は、「交付金を使用しないため、事業費を削除」ということですが、市の独自予算でやるということですか。

□事務局

そうです。

■参加者

「ル・シロシ」の管理運営も予算ゼロですが、これも市の独自予算でやるということでは

すね。市の独自予算でやるものも計上して、計画に入れるということですね。

□事務局

そうです。交付金の対象になるものは交付金の対象として取り扱いますが、施設の通常の運営費は交付金の対象になりません。アイヌ施策の関連施策として、計画上は載せています。

■参加者

市の独自予算でやる事業は、別の計画があるのですか。

□事務局

特にありません。

■参加者

市の独自予算でやる事業計画は、いつ着手され、どのぐらいの市の予算で動いていくのか、今回のアイヌ施策推進地域計画の中では分からないので、気になりました。

「アイヌ記念館の特別開館」もゼロ予算ですが、いつのタイミングでやるか。

□事務局

今のところ予算は立てていないが、経費がかかる場合は、その時に予算化していきます。

■参加者

エコツアーに関しても、違う事業でやるんですね。新イベントと結合してやるんですね。

□事務局

そうです。

■参加者

この予算の中で一番際立って高いのが、「神居古潭のコンテンツ磨き上げと夜間の新イベント開催実証事業」というところなんですけれども、2億8千万円くらいのお金が、投資する金額としてあまりにも大き過ぎるので、どんな規模になるのかが全く想像が付きません。

神居古潭に対しては全国的にも報道された事件の現場となっていることもあり、市外の人の偏った目と言いますか、そういうものが生まれてしまっているのです、この金額をかけてその効果がどれくらいあるのか、見込まれているのか気になったんですけれども、何か具体的なものがあるのでしょうか。

□事務局

具体的な数値はまだ確認していませんが、それなりに交通量がある所で、結構お客様は来られてはいるんですよね。せっかく来られているので、そこでものを販売したり、あるいは美瑛の青い池のようなかたちで、駐車場代で収益を生み出すとか、観光地として整備できるようなかたちをとっていければと考えています。事業費については、実際に内容が変わってくると思いますので、今は2億5千万円というのが内閣府から説明されている上限額の目安でありまして、そこにひとまず入れています。ハード整備に一定規模の予算が必要だろうと思います。実際の事業実施は令和8年度からですので、中身を精査しながら、必要のないものは捨てるつもりですし、しっかりと精査しながら検討していくつもりです。

■参加者

神居古潭の吊り橋のもう少し上流側に伝説の岩があり、日本遺産の関係で設置した看板などがありますが、実物を見るためには川の方に下りていかなければならず、足場が悪くて近づけません。そこに栈橋を作って、下を見ることができるような施設が作れないかということで考えたものだと思います。その金額に見合った来場者がどれだけ来るのかということと、経済効果に関しては一切分からないですが、国の予算がなければ実現しない金額ではないかと思っています。

■参加者

なるほど、理解しました。

■参加者

ただ残念なことに、川の対岸のサイクリングロードは地盤が一部崩れていて、そこを工事して直すことには、予算が付かないと聞いたことがあります。そこも本当は整備できたら、いろいろと違う展開もあるのかなと思います。確かにイメージが悪くなった点もあるんですけど、今後ずっと何十年もそのイメージが続くわけでもないし、できればそこに賑わいがつくれたら良いのかなと思います。

□事務局

正直に言って、かなり不確定要素があります。ただ、大きな要素になりますから、新たに計画を策定する際には、当初から頭出しをしといた方が事が進むかなということと、実際に着手する段階には、もう少し具体的に手をかけながらやっていく必要があるのかなと思います。その段階では数字も当然動くことになると思います。

■参加者

ここが心霊スポットのようなイメージではなく、明るさがあったほうが、事件も起こりにくい。

■参加者

興味本位や冷やかして来る人もいるようなことも聞きますが、そもそも街自体が悪いところではないと思っています。交付金の計画としては後からポンと大きいのを出すよりは、頭から計画として出さないと、多分付くものも付かないというつくりなんだろうなと思っています。

令和7年度事業計画について

□事務局

別紙5を基に概要を説明

■参加者

「④アイヌ文化関連講習会の実施（別紙5 4事業の概要）」の中の、文化伝承者育成のための「アイヌ儀式」は実施しなくても良いです。「イナウ作り」も同じなのですが、古式舞踊は残してください。「儀式」に関しては入れなければいけないなら、名目だけ入れておいていただいても良いですけど。独自に実施はしていますが、予算はなくても良いです。

□事務局

先ほど発言いただいたご意見につきましては、また検討させていただきたいと思います。

今後のスケジュールについて

□事務局

別紙6を基に概要を説明

（発言なし）

その他

(発言なし)

□事務局

本年度は今回の会議が最後になると思います。先ほど説明しましたが、来年度以降はこの作成した計画に基づいて事業を実施していったり、振り返りと次年度以降どうしていくか、というのを事業を実施しながら検討していきたいと思います。また来年度以降、皆さんにご意見を伺いたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

以上で第3回の検討会を終了いたします。ありがとうございました。

以上